

様式第1号（第6条関係）

宮代町商工業活性化事業補助金交付申請書

年 月 日

宮代町長 あて

所在地 宮代町笠原□丁目○-△

団体名 「喫茶○○」

代表者名 宮代 一郎

連絡先 0480-××-△△△△

下記により宮代町商工業活性化事業補助金の交付を受けたいので、宮代町商工業活性化事業補助金交付要綱第6条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- | | |
|-------------|--|
| 1 補助対象事業名 | 経営改善事業 |
| 2 補助対象経費 | <u>金 535,000 円（税抜き）</u> |
| 3 補助金交付申請額 | <u>金 200,000 円</u>
(補助対象経費の1/2以内で千円未満切捨て) |
| 4 補助事業の目的 | デリバリー&PRの実施 |
| 5 補助事業の概要 | 別紙のとおり |
| 6 事業完了予定年月日 | 2023年 3月31日 |

宮代町商工会確認印	宮代町商工会意見等

※事業承継促進事業は記載不要

様式第2号（第6条関係）

事業計画書（空き店舗活用事業、経営改善事業）

1 申請者の概要等

フリガナ 氏名 (代表者氏名)	みやしろ いちろう 宮代 一郎	生年月日 (年齢)	19▲▲年 ○月 ×日 (○○歳)
住所 及び 連絡先	〒×××-△△△△ 宮代町百間○丁目○-○ TEL 0480-××-△△△△ FAX 0480-××-△△△△ E-mail □□@□□.ne.jp		

2 事業計画の内容

(1) 概要

開業・法人設立日	令和元年 12月 10日
屋号又は法人名	「喫茶○○」
事業実施場所	〒×××-△△△△ 宮代町笠原□丁目○-△
主たる業種（日本 標準産業分類・細 分類を記載）	細分類名：喫茶店
	コード（4桁）：7671
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個人事業 ↳ <input type="checkbox"/> 補助事業期間中の法人化も検討している <input type="checkbox"/> 会社設立 ↳ <input type="checkbox"/> 株式会社 <input type="checkbox"/> 合名会社 <input type="checkbox"/> 合資会社 <input type="checkbox"/> 合同会社 <input type="checkbox"/> 個人事業からの法人化
事業に要する 許認可・免許等	許認可・免許等名称：営業許可 取得(見込)日：令和元年10月
	許認可・免許等名称： 取得(見込)日：

(2) 経営計画

1 企業概要

令和元年12月開業した喫茶店。座席数15。

店名「喫茶〇〇」

営業時間 11:30~19:00 週6日営業 ※木曜休業

店主1名、アルバイト1名

コーヒー豆を厳選し、店主自ら豆を挽きお客様に提供。コーヒーに合うケーキ等も自家製にし、手作りを重視している。店内の雰囲気もジャズ等を流し、ゆったりとした時間を提供することを目的としている。

コーヒー 500円 ケーキ 400円

※どのような製品やサービスを提供しているかお書きください。また、売上げが多い商品・サービス、利益を上げている商品・サービスをそれぞれ具体的にお書きください。創業の場合は、見込みを記入してください。

2 顧客ニーズと市場の動向

新型コロナウイルス感染拡大で、店舗の休業や時短営業、外出自粛や在宅ワークが影響し来店客数が減少している。

カフェ自体も大手企業が大きなシェアを獲得し、個人経営の喫茶店は営業が苦しくなっている。

しかしながら、憩いの時間は現在の社会には不可欠であり、コーヒーによって癒しを与えていきたい。

※お客様（消費者、取引先双方）が求めている商品・サービスがどのようなものか、また自社の提供する商品・サービスについて、競合他社の存在や対象とする顧客層の増減など売上げを左右する環境について、過去から将来の見通しを含めお書きください。

3 自社や自社の提供する商品・サービスの強み

コーヒー豆は、コーヒー豆専門店厳選し、店主自ら豆を挽きます。また、スイーツも地元の食材を活かして手作りで対応。店内も落ち着いた雰囲気のジャズなどで入りやすさを演出している。商工会やその他の会合など人前に出る機会を増やして顔の見える店主として活動している。

※自社や自社の商品・サービスが他社に比べて優れていると思われる点、顧客に評価されている点をお書きください。

4 経営方針・目標と今後のプラン

商工会やその他の会合など人前に出る機会を増やして顔の見える店主として活動するとともに、店の特色を伝えるSNS、ホームページと情報発信を継続的にを行い、地元で愛される喫茶店としたい。

月の売り上げ目標

※1～3でお書きになったことを踏まえ、今後どのような経営方針や目標をお持ちか、可能な限り具体的にお書きください。また、方針・目標を達成するためにどのようなプラン（時期と具体的行動）をお持ちかお書きください。

(3) 補助事業計画

1 補助事業で行う事業名
デリバリー&PR事業

※本事業のタイトルを簡略にお書きください。

2 販路開拓（生産性向上）の取組内容

デリバリー事業については、バイクで20分以内の場所に配達、1件でも注文を受け、店の周知に努める。PRとして20分圏内の全住宅地にメニュー表と割引券をポスティング。また、若者や子育て世代向けにSNS（FB、Instagram、Twitter）で継続的に情報発信。

※本事業で取り組む販路開拓などの取組について、何をどのような方法で行うか、具体的にお書きください。その際、これまでの自社・他社の取組と異なる点、創意工夫した点、特徴などを具体的にお書きください。

3 業務効率化（生産性向上）の取組内容
（業務効率化に該当しない場合は記載不要）

4 補助事業の効果

近隣では、デリバリーを行っている店舗がないこととコロナ禍で外食を控えている方に自宅にお届けすることで安心してお店の味を味わってもらおう。WEBサイト、メニュー表、SNSといった多面的な宣伝によりデリバリーを周知し、売上げの向上を図る。

月の売上げ目標

※本事業を行うことにより、売上げ、取引などにどのような効果があるか可能な限り具体的にお書きください。その際、事業を行うことがその効果に結びつく理由も併せてお書きください。

(4) 資金計画

区分	金額（円）
自己資金	1,000,000円

商工業活性化事業補助金	200,000円
金融機関からの借入金	0円
その他	円
合計額	1,200,000円

(5) 補助対象経費明細表

経費項目	補助対象経費（税抜き）	積算内訳・説明
機械装置等費	円	
広報費	425,000円	5円×5,000枚 割引券付きメニュー表 WEBサイト作成 400,000円
開発費	10,000円	新メニュー開発費
雑役務費	円	
委託費	100,000円	5000世帯ポスティング費用
外注費	円	
合計	535,000円	

※対象経費については、その根拠となる見積書等の写しを添付すること。

※空き店舗活用事業は、外注費のみとなります。